

# 挽き板釘打ちフローリング 施工要領書

# 下地について

## 1. 合板下地の場合

根太張用材での釘打ち施工時は、根太間隔は 303mm 以内、根太の寸法は 45mm 角以上とし、下地用合板は厚み 12mm 以上の完全耐水合板を使用し、接着剤と釘を併用して貼り上げ、接合部は目違いの無いように仕上げること。施工の際は含水率は 12%以下に乾燥していること。

## 2. 根太レス工法の場合

根太レス工法の場合、下地には 24mm 以上の構造用合板を使用し、構造用合板とフローリングが直交するよう施工すること。

## 3. 二重床の場合

二重床の場合はパーティクルボードに直交に 12mm 以上の構造用合板を捨て貼りすること。

## 4. 改造工事の場合

### ①塩ビ系統、塗り床等の場合

古くなった P タイル等の上には施工出来ないので、床材、接着剤を完全に取り去りモルタルの表面が出る迄綺麗に清掃した後、平滑に下地を作り直す。尚、厚み 12mm 以上の完全耐水合板をモルタル釘及びエポキシ系接着剤を併用して下地を作り施工すること。

### ②フローリングボード及び 1 尺 × 6 尺合板フローラーの場合

大引き、根太の検査を行い、良否を確かめ、傷みの無い状態にして、サンダーで表面を平滑にし、厚み 5.5mm 以上の (出来れば 12mm コンパネ) 完全耐水合板を接着剤、釘併用で貼り上げた後施工すること。

## 5. 下地ゴムチップパネル温水床暖の場合

温水パイプがゴムチップに平滑に施工されているかを確認する。施工する場合、パネルの長手方向に対してフローリングは直交するように施工する。施工方法は接着剤を用いた直張工法、接着剤は 1 液ウレタン系で施工する事 (推奨コニシ(株) KU928) 材料は下地ゴムチップ用の特注品での直張施工になる為、予め材料打ち合わせをしておく。

## 必要な補助材料

| 材料名                                 | 使用目的                          | 必要量                                | 備考      |
|-------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|---------|
| ・ 2液エポキシ接着剤<br>コニシボンド<br>E350R      | 製品の接着<br>モルタル、合板下地<br>接着材での施工 | m <sup>2</sup> /600 ~ 750g<br>増減あり | コニシ株式会社 |
| ・ プライマー (別途)<br>コニシボンド<br>ボンド E200  | モルタル下地<br>不陸処理                | m <sup>2</sup> /600 ~ 800g         | コニシ株式会社 |
| ・ 1液ウレタン接着剤<br>コニシボンド<br>KU928R,C-X | 製品の接着<br>根太、合板下地<br>糊、釘併用施工   | m <sup>2</sup> /600 ~ 750g<br>増減あり | コニシ株式会社 |

※施工用の接着剤は上記製品以外を使用する場合は必ず木質床用の接着剤を使用する

# 工程（合板下地の場合）

## 1. 下地検査

合板接合部の目違い及び合板の貼り込みが完全かを確認する。

## 2. 基準線の出し方

### ①貼る方向の決定

原則として、入口を基準として貼って下さい。

### ②割付、墨出し

貼り始め部分と貼り納め部分が同じ巾になるように割付し、墨打ちする。

## 3. 釘打ち用直貼りフローリングの施工

### ①清掃

施工直前には、必ず掃除機、箒で下地表面を清掃する。

### ②貼り始め部分の巾決め

墨打ちした線に沿って製品を並べ、定規で巾木にならって寸法を出し、貼り始め部分の巾決めをする。

### ③製品のカット

巾決めした製品を、台付小型丸鋸でカットする。

### ④貼り込み（釘打ち）

墨に従って行い、ゴムハンマーを使用し順次よせながら隙間ができないように張り込む。  
オザネの付け根にフィニッシュネイルかステイプルを打ち込む。

ダメ廻り等の各部の取り合い部分は、予め欠け込みを入れて準備しておき、接着剤の可使時間を考慮して張り終えるようにする。床材表面に付着した接着剤は、硬化しないうちに拭き取り、表面の汚れ等も除去する。

※無塗装品の場合はこの後現場仕様による塗装作業に入る

### ⑤エキスパンション

必要に応じて材料の伸縮に対応するようクリアランス等を設けること

### ⑥清掃

製品の空箱、接着剤の空缶、その他作業で出たゴミをかたずける。  
ホコリ、鋸クズ等は掃除機で除去する。  
最終工程が完了したら、自主チェックを実施する。

## 4. 完了チェック

- ・貼り忘れはないか
- ・巾木、下枠との取り合いはよいか
- ・目違いはないか
- ・キズはないか
- ・接着剤による汚れはないか

貼り込み完了後、約 12 時間程立ち入り禁止とする。

## 5. 養生

貼り込み完了後、作業する場合は、床をキズつけたり、汚したりしない様、ダンボール、シート等でしっかり養生する。

## ●施工後

- ・くさびは施工翌日から3日後までに抜き取ってください。
- ・室内に湿気がこもらないように適度に換気を行ってください。直貼りフローリングは吸放湿により伸縮するため、施工条件や使用環境によっては、表面に波打ちが発生する可能性が高くなります。

## ●養生について

- ・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために養生シートをかぶせ、養生テープで固定してください。

その上に合板、養生ボードを敷いて、十分に養生します。

その際、必ずフロア表面を掃除し、養生シートとフロアの間

ゴミが無いようにしておきます。

- ・養生シートは必ず、窓際・サッシ際まで被せてください。  
養生シートがかぶっていない箇所は、直射日光に当たり色が変わる場合があります。
- ・養生シートは平面（フラット）タイプをご使用ください。  
（凸凹（エンボス）タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ってしまうことがあります。）
- ・養生テープは、絶対に直接フローリング表面に貼らないでください。  
剥がす際に、毛羽立ちが起きたり、塗装を傷める可能性があります。

## ●お手入れについて

- ・挽き板直貼りフローリングは、各塗装仕上げによってお手入れ方法が異なります。

詳しくは、下記 URL 「お手入れ方法」 をご参照ください。

<https://www.muku-flooring.jp/maintenance/>

東京駅から電車で8分・新木場駅より徒歩2分

